



## ◆ 手話を考えるフォーラム in 市川 ◆

前回到引き続きケンちゃんとレンちゃんがフォーラムを紹介！

フォーラムについてわかったかな？



分科会ではどんなことをやるの？

今年の分科会をみてみよう！！



### ◆ 第 1 分科会 「ろう重複・福祉事業」

#### テーマ：ろう重複と高齢者の防災

災害時におけるろう重複障害者・ろう高齢者への配慮とは“3.11”の前に“3.10”があった...？  
防災における資源の活用へは日頃の訓練から

### ◆ 第 2 分科会 「サークル」

#### テーマ：大丈夫？あなたの地域の防災力

災害発生！その時あなたはどうしますか？地域住民として地元手話サークル員として出来ることはなんだろう？  
過去のフォーラムで大好評の DIG (災害図上訓練) を使って防災、自助・共助について一緒に考えてみませんか！

### ◆ 第 3 分科会 「システム」

#### テーマ：防災と手話通訳

ここ数年の間に地震や台風など災害が多く発生しており、防災に対する予備知識が高まっている中、市町村という地域枠を超えて県も含めての連携での仕組みづくりが不可欠のテーマとなっています。

千葉県災害救援本部及び地域での情報保障や手話通訳派遣はどのようにしたら良いか？「防災と手話通訳」で意見や情報交換など防災に対する意識を高めましょう。

### ◆ 第 4 分科会 「医療」

#### テーマ：防災と医療

災害には予測しきれない自然災害(地震、火山、気象、土砂、雪氷)と身近に潜んでいる人工災害(原発事故、化学薬品(汚染・毒ガス等)、事故、災害、戦争)があります。災害に備えて重要なことは、普段の備え、個人(家族)の備えと社会の準備です。【日聴紙 2018 年 3 月号より引用】

個人でできる備えは？地域、サークルでできる備えは？皆さんと一緒に「防災と医療」について考えましょう。

難しそうだからとあきらめていませんか？  
県サ連担当の第 2 分科会は、班ごとに災害が起きたらどんなことをしたらよいのだろう？  
地図を使ってシュミレーションします。

自分の地域外のかたと交流しながら出来る参加型の分科会です。



地図を使った  
防災訓練だよ！



# ディグ DIG

災害図上訓練

DIGを活かして、  
地域の防災を考えましょう



今回は  
オリンピック開催予定地の  
一宮町をモデル地域と  
しています

班（この街）で、  
架空の手話サークルと  
ろう協を作ります

災害発生！

その時、あなたは？

刻一刻と  
時間が  
過ぎていく！

ろう者は  
どうする？

避難所に移動！

その時、あなたは？

家族は？

サークル員として  
何ができる？

- 申込〆切 8月9日（木）厳守（※宿泊申込は7月28日（土）まで）
- お問合せ 社会福祉法人 千葉県聴覚障害者協会内 手話を考えるフォーラム2018係  
TEL 043-308-6372 FAX 043-308-5562